

デジタル技術による文化財情報の記録と利活用 6号

2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧

高田 祐一 (奈良文化財研究所)

事業報告

全国遺跡報告総覧 / 年間報告 / 利用統計

2023年度の全国遺跡報告総覧等の実績報告。

全国遺跡報告総覧の経過やデータ件数などを報告する。

1. 現在のデータ件数とデータの流れ

全国遺跡報告総覧に登録されているデータ件数は以下の通り（2024年3月27日時点）。推移は表1。データ連携は図1。

PDFがある書誌登録数：37429

総ページ数：4,636,235

総文字数：3,134,178,739

書誌登録数：131761

書誌の発行機関数：1905

遺跡抄録件数：145622

文化財動画件数：1185

文化財イベント件数：1046

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
PDF登録件数	920	4552	7525	9771	11916	13516	14374	15930	18838	21154	23075	24495	27761	31089	34496
書誌登録数	920	4552	7525	9771	11916	13516	14374	15930	18838	21154	48694	68769	88067	113050	125640
抄録登録数											93923	130016	135663	139393	141782
直接登録機関数					6	22	23	31	50	875	910	1238	1301	1340	1362
文化財動画件数													410	777	1010
文化財イベント件数													509	619	801
文化財論文件数													817	23645	117571

※2008年度から2014年度は遺跡資料リポジトリの統計。

表1 全国遺跡報告総覧に登録されているデータ件数の推移

	2019年12月 25日時点	2020年12月 28日時点	2022年2月 18日時点	2022年10月 23日時点	2024年3月 27日時点
北海道	2750	2873	2878	2882	3076
青森県	3419	3898	4027	4060	4109
岩手県	3280	3460	3624	3650	3681
宮城県	1097	1257	1365	1436	1703
秋田県	2320	2366	2379	2414	2488
山形県	1299	1304	1312	1307	1301
福島県	4066	4263	4627	4697	5017
茨城県	2515	2943	2988	3301	3367
栃木県	1078	1216	995	995	1048
群馬県	5011	5255	5578	5618	5872
埼玉県	4950	5291	5386	5446	5699
千葉県	7815	7862	8401	8350	8779
東京都	3836	4363	4506	4613	4691
神奈川県	1579	1725	1743	1886	2200
新潟県	3034	3088	3317	3375	3420
富山県	1874	1959	2046	2061	2172
石川県	1248	1308	1534	1549	1744
福井県	435	464	475	478	485
山梨県	705	713	718	735	751
長野県	3925	4127	4267	4395	4515
岐阜県	1852	2261	2602	2596	2640
静岡県	2935	3239	3438	3487	3701
愛知県	2162	2254	2316	2536	2570
三重県	2397	2429	2564	2591	2604
滋賀県	2254	2388	2399	2389	2506
京都府	4894	5341	5666	5568	5583
大阪府	12535	12557	12984	12462	12617
兵庫県	4202	4402	4526	4715	4878
奈良県	3811	5834	5965	5995	5994
和歌山県	1600	1670	1697	1715	1796

鳥取県	1834	1853	1906	1910	2030
島根県	3655	3729	3744	3716	3748
岡山県	990	1014	1028	1057	1099
広島県	1532	1600	1622	1615	1630
山口県	963	991	896	883	890
徳島県	405	413	453	408	394
香川県	1899	2023	2102	2209	2262
愛媛県	1180	1211	1228	1274	1284
高知県	474	478	478	481	495
福岡県	6988	7428	7694	7822	8207
佐賀県	1187	1215	1340	1342	1400
長崎県	1040	1080	1162	1179	1221
熊本県	1206	1283	1486	1561	1533
大分県	1761	1939	2162	2203	2345
宮崎県	2604	2630	2670	2682	2709
鹿児島県	1724	1792	1817	1875	1923
沖縄県	838	881	1014	1050	1084
合計	125158	133670	139125	140569	145261

※遺跡抄録にて市町村コードがないものはカウント外のため、全体の件数と一致しない

※重複データの削除等で件数が減少することがある

表3 都道府県別抄録公開件数

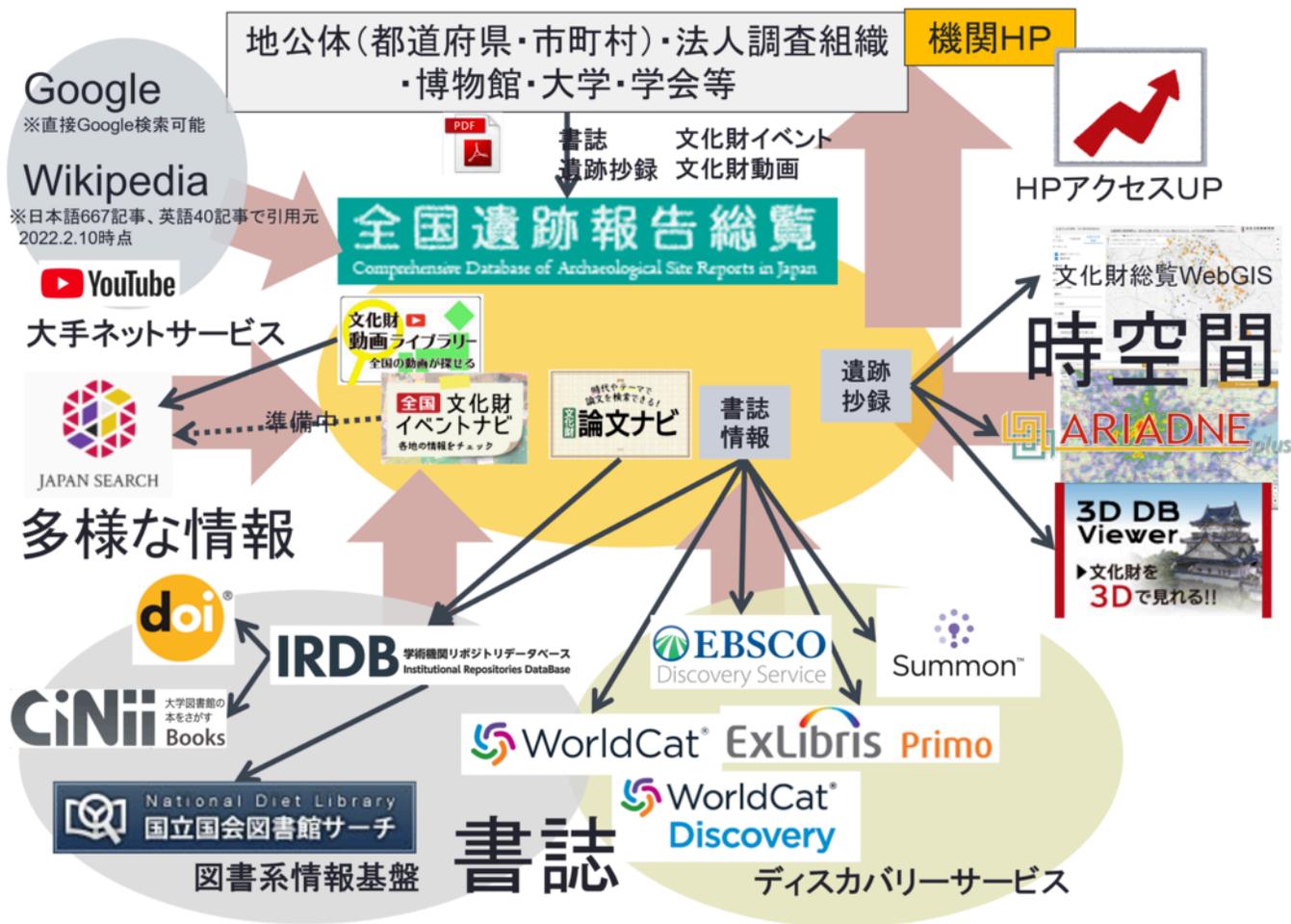


図1 全国遺跡報告総覧とのデータ連携

2. 全国遺跡報告総覧のこれまでの経過

2008年から2014年までは遺跡資料リポジトリである。

2008（平成20）年度

- ・中国地方5県域（大学）で遺跡資料リポジトリの運用開始（各大学が個別にサーバ管理）
- ・メタデータの収集
- ・作成開始（奈文研とも連携）
- ・報告書の電子化開始（NIIのCSI事業費）

2009（平成21）年度

- ・12府県域（大学）へ拡大（各大学が個別にサーバ管理）
- ・横断検索・全文検索に対応するためのシステム改修
- ・報告書の電子化（CSI事業費 / 科研費）

2010（平成22）年度

- ・20府県域（大学）へ拡大
- ・NII共同サーバ上にシステム構築（新規参加大学向け）
- ・オープンカンファレンス開催（2010.12@大阪）
- ・報告書の電子化（CSI事業費 / 科研費）

2011（平成23）年度

- ・自治体セルフ・アーカイブ移行のためのシステム改修
- ・全国の自治体にアンケート調査を実施
- ・プロジェクトが推進する電子化仕様を公開
- ・ワークショップ開催（2010.11@東京 / 同.12@福岡）
- ・報告書の電子化（CSI事業費）

2012（平成24）年度

- ・CSI委託事業最終年度
- ・22府県域（21大学）へ拡大
- ・報告書の電子化（CSI事業費 / 科研費）
- ・奈文研と広域モデル実証実験開始（報告書発行機関による直接参加が可能に）
- ・シンポジウム開催（2012.11@福岡）

2013（平成25）年度

- ・報告書の電子化（科研費）
- ・奈文研とシステム移行に向けた協議開始

2014（平成26）年度

- ・島根大学附属図書館全国遺跡資料リポジトリ推進会議事務局が国立大学図書館協会賞を受賞（2014.6）
- ・連携大学実務者会議でシステムの統合・移管が決定（2014.11）
- ・旧システムの凍結及びシステム移行作業（2014.12～）

2015（平成27）年度

- ・連携大学による新システムの検証（負荷テスト等）
- ・全国遺跡報告総覧の公開（公開時点の報告書14,374冊）（2015.6）
- ・データ登録再開（2015.8）
- ・ディスカバリーサービス（Summon）との連携開始（2015.9）

- ・ 報告書本文データの登録件数が15,000件に (2015.10)
- ・ シンポジウム開催 (2016.2@奈良)
- ・ CiNii Booksとの連携開始 (2016.3)

2016 (平成28) 年度

- ・ 英語自動検索機能公開のお知らせ (2016.8)
- ・ イベント情報 (文化財イベントナビ) の登録・公開機能を追加 (2016.9)
- ・ シンポジウム開催 (2016.11@奈良) 開催
- ・ Worldcat (ディスカバリーサービス含む) との連携開始 (2017.2)

2017 (平成29) 年度

- ・ ディスカバリーサービス (EDS) との連携開始 (2017.4)
- ・ 報告書の頻出用語を可視化したワードマップを公開 (2017.4)
- ・ 報告書本文データの登録件数が20,000件に (2017.7)
- ・ 文化財報告書にDOIの付与会誌 (2017.7)
- ・ 考古学関係用語辞書拡充 (2017.8)
- ・ 「データ登録に関する今後の方針」を公開 (2017.10)
- ・ 報告書発行機関向けの説明会を開催 (5会場: 奈良 / 仙台 / 岡山 / 福岡 / 東京)

2018 (平成30) 年度

- ・ モバイル端末向けPDFの公開 (2018.8)
- ・ 遺跡 (抄録) 検索機能の公開 (2018.12)
- ・ ディスカバリーサービス (Primo) との連携開始 (2018.12)
- ・ 全埋協抄録データベースの統合完了 (2019.1)
- ・ 奈文研での関連研修内容をまとめた刊行物を遺跡総覧で公開 (2019.3)
- ・ 報告書発行機関向けの説明会を開催 (5会場: 京都 / 福島 / 石川 / 埼玉 / 大分)
- ・ 引用表記の自動表示 (2019.2)
- ・ 都道府県別の発掘調査報告書総目録 高知県・島根県編の公開 (2019.3)

2019 (令和元) 年度

- ・ 欧州考古学情報基盤ARIADNE Plusへの奈良文化財研究所の参画 (2019.4)
- ・ 都道府県別の発掘調査報告書総目録 新潟県編の公開 (2019.4)
- ・ 全国の遺跡や文化財に関するイベント情報検索機能公開 (2019.6)
- ・ 都道府県別の発掘調査報告書総目録 大阪府編の公開 (2019.6)

- ・ 奈文研抄録データベースの全国遺跡報告総覧への統合完了（2019.6）
- ・ 発掘調査報告書総目録 新潟県編の書誌情報を全国遺跡報告総覧に登録（2019.11）
- ・ 書誌ページQRコード表示機能とシリーズ番号順並び替え機能公開（2019.11）
- ・ 報告書発行機関向けの説明会を開催（5会場：佐賀 / 新潟 / 広島 / 愛知 / 東京）
- ・ 発掘調査報告書総目録 大阪府・兵庫県・島根県・高知県編の書誌情報を全国遺跡報告総覧に登録(2020.1)
- ・ 類義語およびOCR誤認識用語検索機能の公開(2020.2)

2020（令和2）年度

- ・ 文化財動画ライブラリー公開のお知らせ(2020.8)
- ・ 全国の発掘調査報告書の書誌情報13583件を一括登録(2020.10)
- ・ 遺跡位置の世界測地系10進法への簡易変換表示機能の公開(2020.11)
- ・ 全国の文化財地図・遺跡地図、発掘調査報告書等の書誌情報1814件を一括登録（2020.12）
- ・ 文化財動画ライブラリーがJAPAN SEARCH上で検索可能に。データ連携開始(2020.12)
- ・ 青森県・福島県・岡山県の発掘調査報告書等の書誌情報1257件を一括登録(2021.2)
- ・ 文化財論文ナビの公開(2021.3)

2021（令和3）年度

- ・ 遺跡位置表示機能およびWikipedia記事に全国遺跡報告総覧登録コンテンツを引用する際の表記を自動表示する機能の公開(2021.4)
- ・ 文化財論文情報の13164件を一括登録(2021.5)
- ・ 文化財論文ナビの機能およびメタデータの追加(2021.6)
- ・ Internet Archeologyにて考古学デジタルアーカイブ特集号が発表(2021.6)
- ・ 文化財論文ナビにて類似論文の自動表示と共起ネットワーク図の追加(2021.6)
- ・ 北海道・埼玉県・岐阜県・福井県の発掘調査報告書等の書誌情報2822件を一括登録(2021.7)
- ・ 文化財総覧WebGISの公開(2021.7)
- ・ 岩手県・茨城県・石川県・和歌山県の発掘調査報告書等の書誌情報2367件を一括登録(2021.7)
- ・ 山形県・秋田県・徳島県・山口県・佐賀県・長崎県・熊本県の発掘調査報告書等の書誌情報2449件を一括登録(2021.8)
- ・ 群馬県・香川県・愛媛県・大分県の発掘調査報告書等の書誌情報1895件を一括登録(2021.9)
- ・ 文化財論文情報の2158件を一括登録(2021.9)
- ・ 宮城県・栃木県・神奈川県・静岡県の発掘調査報告書等の書誌情報4012件を一括登録(2021.10)
- ・ 千葉県・京都府・広島県・沖縄県の発掘調査報告書等の書誌情報4480件を一括登録(2021.11)
- ・ 愛知県・三重県・滋賀県・鹿児島県の発掘調査報告書等の書誌情報4248件を一括登録(2021.11)

- ・文化財論文情報の3628件を一括登録。遺跡報告内論考データベースのデータ移行完了(2021.11)
- ・文化財総覧WebGISにて表示中の状態を再現できる機能等の公開(2021.12)
- ・文化財論文情報の1718件を一括登録(2022.1)

2022（令和4）年度

- ・昭和30年代に奈良文化財研究所が撮影した空中写真の範囲を拡張し公開(2022.4)
- ・文化財論文情報の37391件を一括登録(2022.4)
- ・発掘調査報告の掲載有無を追加(2022.6)
- ・書誌情報6125件を一括登録(2022.7)
- ・OCR済みのPDFに一括差し替え(2022.7)
- ・文化財論文情報55410件を一括登録。考古関連雑誌論文情報補完データベースのデータ移行完了(2022.7)
- ・三重県四日市市の遺跡情報を登録(2022.9)
- ・重複書誌を整理。報告書総目録掲載対象項目を表示(2022.10)
- ・自然災害伝承碑の詳細表示と3D地形表示の機能公開(2022.10)
- ・全国文化財情報デジタルツインプラットフォームの構築(2022.10)
- ・文化財総覧WebGIS：静岡県・岐阜県のCS立体図追加および自然災害伝承碑のポップアップ表示(2022.10)
- ・全国遺跡報告総覧：遺跡抄録の遺跡種別に「水中」を追加(2022.11)
- ・全国遺跡報告総覧：ツイート時に管理機関名とTwitterアカウントを表示する機能を追加(2022.11)
- ・文化財総覧WebGISがデジタルアーカイブ学会学会賞 学術賞（基盤・システム）を受賞しました(2022.12)
- ・全国遺跡報告総覧：NCIDとJP番号の一括登録(2023.1)
- ・全国遺跡報告総覧：書誌の巻次およびシリーズ番号にて一括置換(2023.2)
- ・全国文化財情報デジタルツインプラットフォームに新たに文化財の3Dモデルを追加(2023.3)
- ・文化財総覧WebGIS：法務省登記所備付地図データを追加(2023.3)

2023（令和5）年度

- ・全国文化財情報デジタルツインプラットフォームに新たに文化財の3Dモデルを追加(2023.5)
- ・全国文化財情報デジタルツインプラットフォームに新たに文化財の3Dモデルを追加(2023.7)
- ・全国遺跡報告総覧：報告書種別を細分化しました(2023.8)
- ・文化財総覧WebGIS：地すべり地形分布図日本全国版を追加(2023.8)
- ・文化財総覧WebGIS：広島県・岡山県・愛媛県・高知県・福島県・熊本県・大分県のCS立体図を追加(2023.9)
- ・文化財総覧WebGIS：栃木県・兵庫県(50cmメッシュ)・高知県のCS立体図を追加(2023.10)
- ・全国文化財イベントナビおよび文化財動画ライブラリーに各種募集・人材募集の種別を追加しました(2023.10)

- ・文化財総覧WebGIS：長野県のCS立体図を追加(2023.11)
- ・全国遺跡報告総覧：全国文化財目録の公開(2023.12)
- ・文化財データリポジトリの公開(2024.1)
- ・全国遺跡報告総覧:建造物関係報告書書誌情報5745件を一括登録(2024.1)
- ・文化財オンラインライブラリーの公開(2024.3)

3 . 利用統計

2022年度の1年間のPDFダウンロード数は2348202件であった(図2)。アクセス数は889万件、ページ閲覧数は1億1783万件だった(表2)。

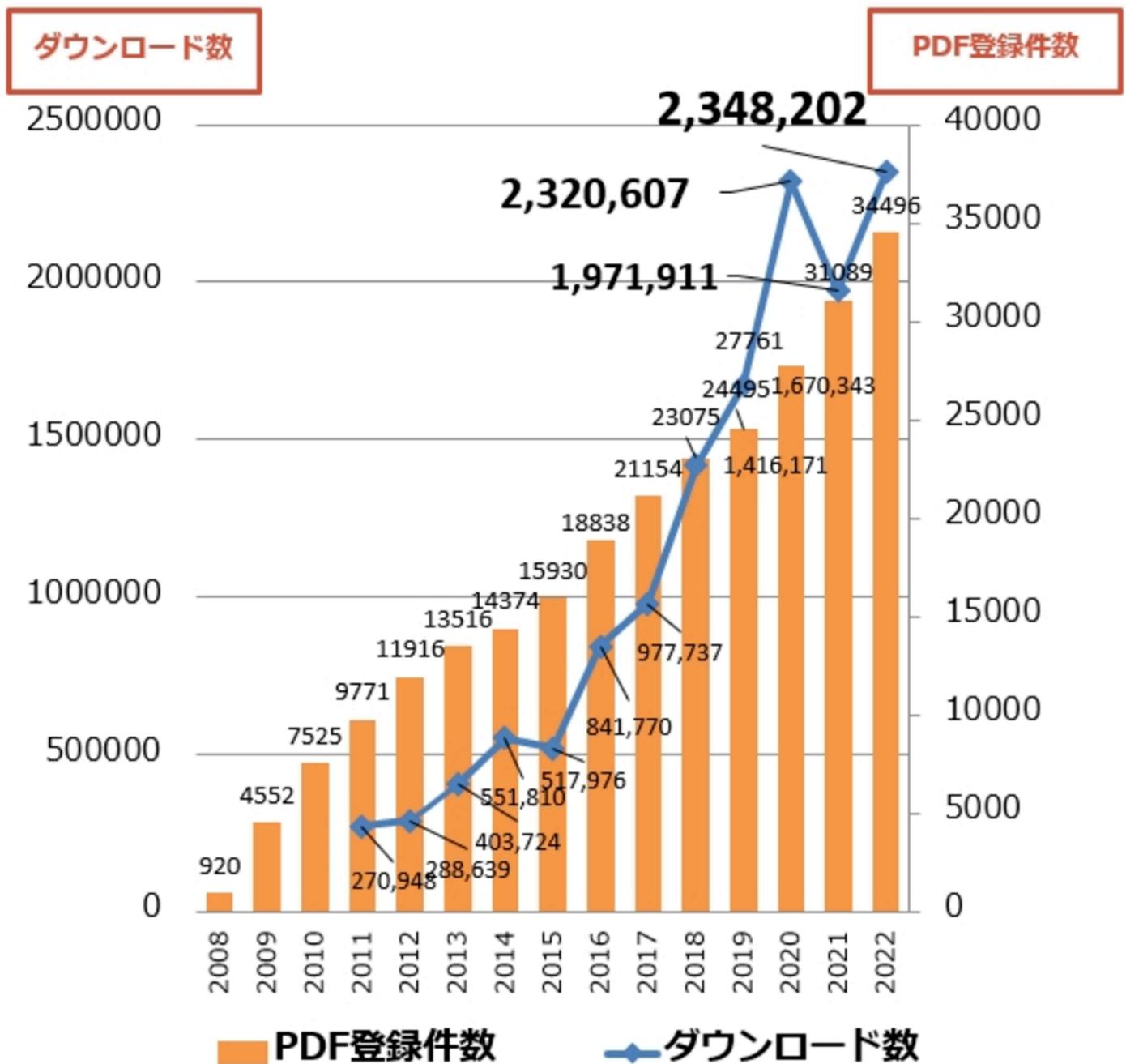


図2 報告書登録数とダウンロード数の推移

年度	アクセス数	ページ閲覧
2015	-	-
2016	341万	1155万
2017	886万	7277万
2018	1117万	1億302万
2019	1557万	8127万
2020	1366万	7849万
2021	871万	9997万
2022	889万	1億1783万

表2 全国遺跡報告総覧のアクセス数とページ閲覧数

4 . 全国文化財目録の概要

1. 概要

(1)システムの概要と背景

日本には、遺跡、建造物や有形文化財など膨大な文化財がある。それらの文化財に対し、同じ文化財であっても国・都道府県・区市町村・大学や博物館などそれぞれの機関から文化財に関するデータが作成される。また、同じ文化財（主に遺跡）であっても、複数回の調査が実施されることがある。

結果、同一の文化財に複数の情報や記録が生成されたが、バラバラにあるため、一元的に確認することは難しい状況であった。そこで、文化財単位に各情報を名寄せし、集約した。

全国文化財目録（2023年12月7日公開）

URL: <https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/search-cultural-heritage> (<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/search-cultural-heritage>)

2. データと機能

(1)データ

下記のデータをもとに、名寄せ処理した。

遺跡抄録データ 約14万件 <https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/search-site>
(<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/search-site>)

遺跡データベース（更新停止）約48万件

国土交通省：都道府県指定文化財データ

文化庁：国指定文化財等データベース

各地方公共団体の文化財オープンデータ

【現状】文化財への調査メタデータがバラバラ

文化財物件ごとにデータを開覧できない
個別に探していく必要

【改善後】文化財物件ごとに名寄せ

文化財ごとに閲覧可能

IDの付与

ID指定で機械処理可能（今後の基盤）

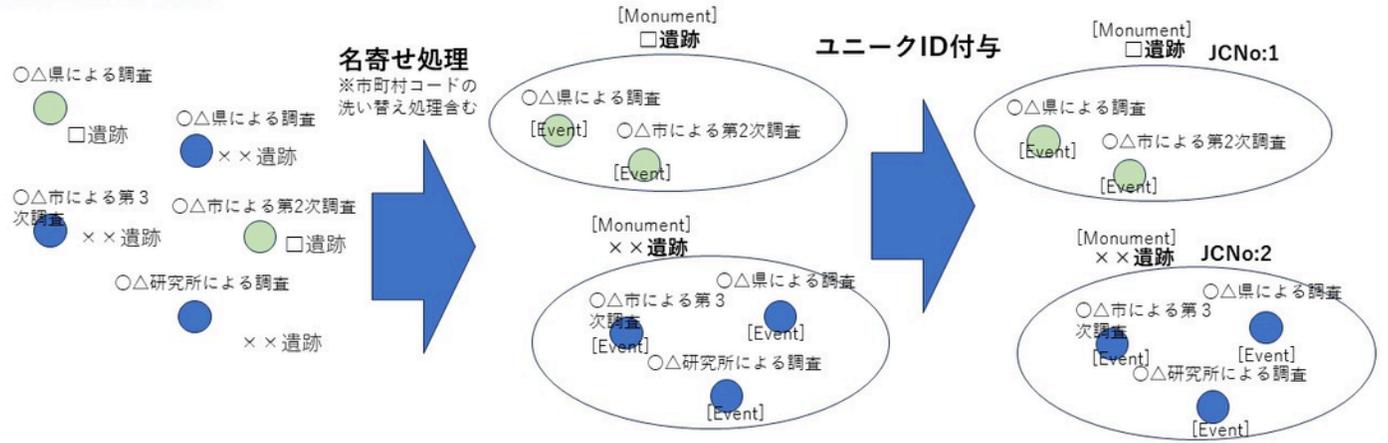


図4 文化財情報の名寄せ処理

3. 期待される効果

(1) アクセス性の向上：名寄せによって文化財情報を統合的に確認する

これまでは様々な機関が作成したデータを個別に検索し、確認する必要があった。当該文化財の情報を集約することで、当該文化財に関する情報を一覧で閲覧することができる（図5，6）。

キーワードから探す

広島城

検索

- 詳細検索
- 遺跡(抄録)検索
- 全国文化財イベントナビ
詳細検索
- 文化財動画検索
- 文化財論文検索
- 全国文化財目録

一覧から探す

- 新着一覧
- 発行機関一覧
(都道府県別)
- 報告書種別一覧
- みんなの注目コンテンツ

その他

- 利用案内
- 本事業について
- 参加・登録手続、よくある
質問
- 参加機関
- リンク集
- 2018年度報告書データベ
ース作成に関する説明会

English | 日本語

→ トップページへ戻る

← 検索結果に戻る

日本全国文化財番号 (JC番号:JCNo) : 10780

広島県 広島市

広島城跡

permalink : <http://sitereports-dev1.earmas.jp/cultural-property/10780>



文化財総覧WebGISで確認する

※当該位置周辺を表示し、同一名称の遺跡データが存在する場合は遺跡をポイント表示します。

報告書所収遺跡

[ID:28817] 広島城跡国保会館地点

所在 : 広島県広島市中区東白島町19-15

大蔵省(24104)

B!ブックマーク 0

ツイート

いいね! 0

シェアする

時代

昭和 明治 大正

江戸 戦国

近世

(細分不明)

近代(細分不明)

種別

史跡 その他 集落

城館

図5 文化財ごとに表示

報告書所収遺跡	各種文化財情報
<p>[ID:28817] 広島城跡国保会館地点</p> <p>所在：広島県広島市中区東白鳥町19-15 市町村：広島市 (34101) 種別：城跡 主な時代：江戸 報告書名：広島城跡国保会館地点～広島市中区東白鳥町所在～ 編集機関：株式会社島田組 調査期間：20060601-20061006 調査面積：1320 遺構：建物跡9基 井戸1基 廃棄土坑126基 溝状遺構11基 遺物：陶磁器 土師瓦質土器 瓦 金属製品 銭貨 データ管理機関：広島市 - 広島県</p>	<p>[RecNo:98028161] 広島城跡</p> <p>所在：広島市中区基町 市町村：広島市 (34101) 種別：史跡 主な時代： 遺構概要： 遺物概要：文化財種類(詳細)：史跡名勝天然記念物、種別1:史跡、重文指定年月日19530331 発掘概要： その他概要：文化庁：国指定文化財等データベース (2021年1月29日時点) データ管理機関：広島市 - 広島県</p>
<p>[ID:28830] 広島城跡八丁堀地点</p> <p>所在：広島県広島市中区八丁堀3-4 市町村：広島市 (34101) 種別：城跡 主な時代：江戸 明治 大正 昭和 報告書名：広島城跡八丁堀地点発掘調査報告書 編集機関：株式会社「スゴ 財団法人広島市文化財団 調査期間：20070902-20080312 調査面積：1776 遺構：建物跡 土坑 井戸 溝跡 遺物：陶磁器 瓦 木製品 データ管理機関：広島市 - 広島県</p>	<p>[RecNo:426627] 広島城跡 司法書士会館新築地点</p> <p>所在：広島県広島市中区八丁堀6-65 市町村：広島市 (34100) 種別：集落 その他 主な時代：江戸 近世 (細分不明) 明治 遺構概要：市財回報2006 (江戸-建物+土坑+井戸+溝/明治-建物 (旧陸軍兵舎基礎))。 遺物概要：市財回報2006 (江戸-陶磁器+瓦+木製品/近世-木簡)。木簡研究30、近世-木簡。 発掘概要：広島司法書士会館新築<調査期間>2006年4月17日から2006年6月23日。 その他概要：市財回報2006-2007.3。福原茂樹「広島・広島城跡」(『木簡研究』30、2008)。 データ管理機関：広島市 - 広島県</p>
<p>[ID:28831] 広島城跡法務総合庁舎地点</p> <p>所在：広島県広島市中区上八丁堀2番15号 市町村：広島市 (34101) 種別：城跡 その他 主な時代：江戸 近代(細分不明) 報告書名：広島城跡法務総合庁舎地点～広島市中区上八丁堀所在～ 編集機関：財団法人広島市文化財団 文化科学部 文化財課 調査期間：20050614-20060309 20060404-20070202 調査面積：3800 遺構：堀跡 建物跡 土坑 溝 ビット 石垣 井戸 遺物：陶磁器 土師瓦質土器 瓦 木製品 金属製品 銭貨</p>	<p>[RecNo:489731] 広島城跡 法務総合庁舎地点</p> <p>所在：広島県広島市 市町村：広島市 (34100) 種別： 主な時代：近世 (細分不明) 遺構概要： 遺物概要：木簡研究30、近世-木簡。 発掘概要： その他概要：福原茂樹「広島・広島城跡」(『木簡研究』30、2008)。 データ管理機関：広島市 - 広島県</p>

図6 調査情報を集約して表示

(2)機械可読性の向上：文化財のID化による多様な展開への基盤

文化財ごとにIDを付与した。文化財そのものを対象に、上位データのIDとして、一意となる日本全国文化財番号(JC番号:JCNo)を付与した。各個別の下位データにも一意となるIDを付与した。IDを付与することで、今後のコンピュータ処理の際に、様々な展開や応用が可能となった。今回はその基盤化のための一歩となる。

2024-03-27 「表1 全国遺跡報告総覧に登録されているデータ件数の推移」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「表3-都道府県別抄録公開件数」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図1 全国遺跡報告総覧とのデータ連携」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図2 報告書登録数とダウンロード数の推移」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「表2 全国遺跡報告総覧のアクセス数とページ閲覧数」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図3 文化財情報の構造」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所 <https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図4 文化財情報の名寄せ処理」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図5 文化財ごとに表示」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所 <https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>

2024-03-27 「図6 調査情報を集約して表示」 『文化財データリポジトリ 高田祐一「2023年度数字で見る全国遺跡報告総覧」 『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用6』』 奈良県 奈良文化財研究所
<https://sitereports.nabunken.go.jp/cultural-data-repository/49>